

私が一か月間のインターンシップでお世話になったのはマレーシアの不動産会社であるコスモス・プランです。クアラルンプールをはじめ、ペナン、ジョホールバルといったマレーシアの主要都市に加え、東京に拠点を構えています。1999年にペナンで日本人のロングステイを支援する企業として設立され、2003年には日系企業として初めてMM2Hというマレーシア長期滞在ビザの正規代理店となりました。主な事業内容は、マレーシア国内の不動産の賃貸・売買仲介や物件管理、日本人向けのロングステイ支援、ビザ申請サポートなどです。

インターンシップでは、物件内覧や不動産ツアーへの同行、翻訳作業、YouTube動画編集などを担当しました。不動産ツアーを通じて、日本とマレーシアの住宅構造や生活様式の違いを実際に見て学ぶことができました。また、社員の方々がお客様のニーズを的確に捉え、日本との相違点を丁寧に説明している姿から、信頼を築く接客の重要性を学びました。売買契約書の署名に同席させていただいた機会も非常に印象に残っています。不動産購入は多額の資金が動き、リスクを背負うため慎重になるお客様が多いです。しかし社員の方は知識や経験を最大限に活用することによって、お客様の不安に寄り添いながら信頼を築いており、そのプロフェッショナルな姿に感銘を受けました。仕事をする上で、高いコミュニケーション能力や多角的な提案ができる能力は非常に重要なことであると学びました。さらに、YouTube編集作業を通して情報発信力を磨くことができ、どのようにすれば効果的に伝えられるのかを意識するようになりました。ここで得た情報を選択するスキルを他の場面でも活用することが目標です。翻訳作業では専門用語に苦戦しながらも表現の柔軟性や言語運用能力を高めることができました。週に2回ほど行われるミーティングにも参加させていただき、情報共有や意見交換が行われるアクティブな現場を直接目で見ることができ、協働の大切さを改めて実感しました。

最初は異国の地でインターンシップをすることに不安を感じていましたが、一か月を通して多くの学びと成長を得ることができました。特に異文化環境での働き方やコミュニケーションの重要性、そして金融や為替といった国際的な視点の必要性を実感しました。私はまだ将来のキャリアプランが明確に決まっていますが、このインターンシップを通じて自分の向き不向きを理解し、どのような職業をファーストキャリアにしたいのかを考えることができました。また、言語の壁もありましたが、マレーシアの優しく、温かい国民性もあって言語への苦手意識が薄れ、自信がついたことも大きな成果です。

最後に、マレーシアで過ごした1カ月は、私にとって非常に有意義な時間でした。帰国して約2カ月が経ちますが今でもマレーシアの料理や街並みがとても恋しいです。特に異文化環境で働くことで視野が広がり、価値観にも変化が生まれました。海外インターンシップでは苦境に立たされ不安を感じることもあると思いますが、やりがいも大きいです。今しかできない経験として必ず大きな糧になります。少しでも興味がある方は、ぜひ勇気を出して挑戦してみたいです。



通勤時に見た景色



オフィス内